

第1回技術講習会報告

月日 09月30日 場所 飯山満公民館 指導担当 JK1TUJ, JJ1GRK

内容 ヘンテナの製作

第1回技術講習会が16名の参加を得て行われました。ご指導いただいた JK1TUJ 加藤さん JJ1GRK 高木さんをはじめ、各局さんお疲れ様でした。

外気温17度小雨がけむり11月上旬を思わせる、生憎のお天気でしたが、室内は熱気に包まれ汗ばむようななかでの作業となりました。

最終的には、全員なんとか無事完成でき、またヘンテナへの理解が少しでも深まったことが、何よりの成功だったと思われます。

参加いただいた局は(順不同で)7L3UQW, 7K4CTL, JF1XPH, JS1SWW, JA2LGY, JA1ETB, JA1QC, JJ1GRK, JK1PIK, JA1EDJ, JE1QFY, JG1BAG, JE1FTN, JS1GXW, JK1TUJ, JL1GYB の16局です。

技術講習会担当 JL1GYB



第2回移動運用報告

月日 11月11日 場所 君津市鹿野山 担当 JH1GEN, JA1VRZ

天気晴朗なれど霧多し。絶好の移動日和となりました。

前日から現地入りしたJH1GENは、視界3メートルの濃霧の中に先客を発見した。

川崎から来たという彼の車は無線車そのもので、軽四輪バンは一人だけの世界。ワイヤーを張って各バンドをチェックしている模様だ。二言三言挨拶を交わしてからオン、エアミーティングに参加する。

標高もあることだし、ハンディ機で十分だとタカを括っていたらとんでもない世界だった。

船橋各局の信号が弱い、八木を振って方向を探って驚いた。公称5Wハンディでは限界があるぞと痛感する。翌朝バッテリーから直給電のモバイル機にかえて、周波数確保でJA6AZE局と交信。

さて、そろそろ集合時間だぞと耳を敬てると JG1DVY小池さんの声、アレーツアレーツ・・・と。どうやら現地集合は単騎待ち???

7L1TTH島村さんの声 説田さんの声。待つことしばし、途中ときどきQSO そして小池さん到着。アンテナのあれこれを実験している。どうやら7メガ以上50メガまではパルス性のノイズでBFの模様。

先客の川崎の彼は、車の不調で無念のリタイア。でも、夜中は結構頑張っていたナァと思いつつも千葉コンテストの開始時刻だ。午後零時開始と同時に説田さんからワンポイント 県内局だから2点頂き、JA1BWA高橋さんからもコールして頂いた。両OM VY TNX QSL VIA JARL ということで・・・。JJ1YNA/1のCQコールは南房総の山々にコダマしたのであります。そして、結果はJARLニュースでご覧下さい。きっちり3時間の成果が楽しみです。

次は、温泉です。小池さんと二人だけ、貸し切状態の鄙びた宿での45分間は温まります。

ここは外来入浴午前10時から、16時まで。直前に飛び込んだので入浴料は二人で¥1Kでした。

小糸川温泉 通にお勧めの黒湯です。可視深度百ミリというところでしょうか。当局の知る限りでは最も濃い成分です。一度如何ですか？ なお、当日の参加局は、JG1DVYとJH1GEN の2局でした。
移動運用担当 JH1GEN

第2回技術講習会報告

月日 12月2日 場所 飯山満公民館 指導担当 JJ1GRK

内容 スリーブアンテナの製作 アマチュア局の新スプリアス規定についての解説

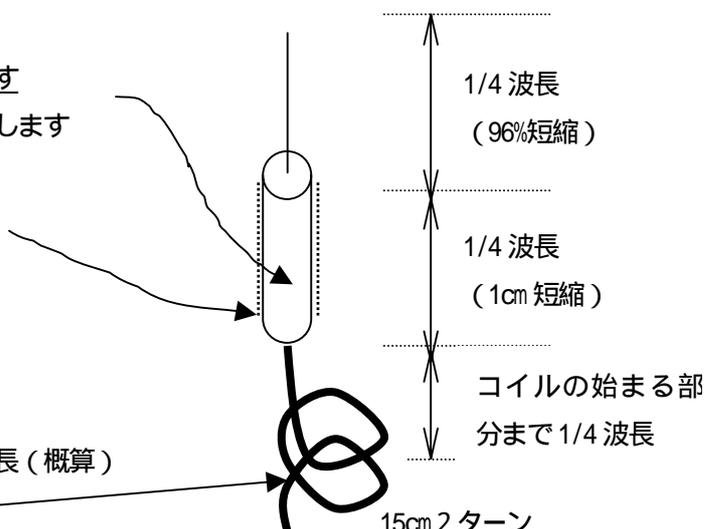
第2回技術講習会は13名の参加を得て行われました。内容は、緊急用スリーブアンテナの製作です。同軸ケーブルと、コネクタ、工具さえあれば簡単につくることができます。緊急時にアンテナを作る方法を会得しておけば、今後役に立つと思われます。

出来上がりの写真だけでは、わかりづらいので、イラスト図と簡単な説明を付け加えておきます。



出来上がりのスリーブアンテナ

- はじめに 30cm、同軸の外皮を剥ぎます。
- 剥いだ同軸の外皮を2重に下に巻きつけます
- 巻きつけた外皮をビニールテープで固定します
- ・その外皮（ビニールテープ）の上に
- 網線を戻し、スリーブとします
- スリーブをビニールテープで押えてから
- その長さを調整します
- ・同軸芯線の長さを調整します
- 同軸ケーブルを巻きます（2ターン）
- 場所は芯線エレメント下部から 1 / 2 波長（概算）
- 直径 10 ~ 15cm 程度とします。



参加いただいた局（順不同で）JK1TUJ, JK1PIK, JL1GYB, JA1ETB, JS1IWA, JE1QFY, JA10QX, 7L3UQW, JH1GEN, JA1QC, JA1EDJ, JI1SMM, JJ1GRK の13局でした。技術講習会担当 JJ1GRK

千葉県主催徒歩帰宅訓練参加報告

JARL 千葉県支部の非常通信訓練は、千葉県主催の徒歩帰宅訓練に参加する形で開催されました。本非常通信訓練は、例年のサバイバルウォークサポート非常通信訓練に代わるものです。

連絡会からは、JA1QC 山本さん、JK1PIK 村上さん、JH1GEN 高間さん、JL1GYB 木村さんが参加されました。また、中継局としてJR1YUX局が参加しました。参加された、各々の担当個所から代表して、参加報告が届いておりますので、ご紹介いたします。

中継局担当

JR1YUX 会長 湯浅太郎

去る平成19年12月15日(土)午前9時00分から午後1時37分の終了宣言まで千葉県主催の徒歩避難訓練非常通信訓練に参加しました。

この徒歩帰宅訓練は、ご承知のとおり、地震などの災害が起き、電車等の交通機関が動かなくなったとき、歩いて帰る道を知っているか、また、自宅まで歩いて帰れるかを確認するために、千葉市内(千葉マリスタジアム)から市川市(大洲防災公園)までの16kmを徒歩で避難する訓練でした。

この訓練に(社)日本アマチュア無線連盟千葉県支部、千葉県職員アマチュア無線クラブ(JA1YOJ)、NTT千葉港アマチュア無線クラブ(JO1YMO)、船橋市非常通信連絡会傘下の船橋市役所アマチュア無線クラブ(JR1YUX)及び船橋市アマチュア無線クラブ(JJ1YNA)の各局が非常通信訓練実施のために参加したものです。

非常通信訓練は、センター局と中継局間は144.88MHzで交信し、中継局と徒歩避難者である移動局間は433.88MHzで交信しました。

センター局は、千葉県職員アマチュア無線クラブ(JA1YOJ)が担当し、千葉市側の中継局としてNTT千葉港アマチュア無線クラブ(JO1YMO)局、船橋市以西についての中継局として、船橋市役所アマチュア無線クラブ(JR1YUX)局及び船橋市アマチュア無線クラブ(JJ1YNA)が、JR1YUXの機器とコールサインにより担当しました。

船橋市の実施している防災訓練が市内を対象としたライフラインの訓練だとすれば、今回の非常通信訓練は、帰宅難民に対する安否、支援のための訓練と言えるのではないのでしょうか。

訓練開始時は、三班編成で各班ごとに出発しましたが、時間の経過とともに入り乱れグループわけが困難となりました。通信状況については、基地局と各中継局の通信は問題なく通信が確保できていました。移動局と中継局間の通信については、出発当初は千葉中継局との交信は確保できていましたが、南船橋駅通過後あたりから交信困難となりました。そこで、船橋中継局がこれを引継ぎ市川市のゴール地点まで交信を行い交信可能であることを確認いたしました。移動局のハンディ機の中には出力が0.2Wと小出力の局もあり、船橋市街に入ると高層ビルがあるため、千葉市の中継局との交信は不可能となりました。

また、ローカルモバイル間の交信につぶされて訓練終盤には、移動局との交信は支障を生じる場面もありました。あってはならないことですが、災害時には、さまざまな情報が飛び交うと思いますので、情報の交通整理と通信のルール作りを平常時に決めておく必要性を痛感しました。

船橋市は東京から徒歩で帰宅した場合の一日目にあたりますので、今回の徒歩帰宅訓練は、帰宅難民に対する非常通信訓練という観点から非常に有意義なものであることがわかりました。この訓練結果を船橋市の総合防災訓練に生かし、いざという時に備えたいと思います。

中継局担当

JH1GEN 高間治基

午前八時ちょい過ぎのこと、船橋市消防本部の4階にバックアップ要員として馳せ参じました。無線室(倉庫とも云う)では、伊藤さんと湯浅さんが移動スペックの八木を組立てている真っ最中でした。

予定されている点呼時刻の五分前に架設完了・・・常設アンテナが無い・・・途中からGPに建て替えましたけれど・・・。リグは常時箱の中、運用する都度箱から出してセットするのが恒例の様子。

無線局の配備は、JARL千葉県支部の基地局が県庁、コントロール局が幕張のNTT25階室内、中継局としてJR1YUXが消防本部屋上からという様子です。

周波数は、144.880が県庁とNTTクラブとの連絡用周波数(サブチャンネルの指定なし)

433.880が参加局との交信周波数(サブの指定なし)でした。

午前九時のスタート時刻には、両波ともトラックが例によって使っていましたが強引に送信開始となりました!!!当然ブーイングの嵐です。

でもね、トラックによる丸々カクカク交信している場合でも、アマチュア局がいるという事実を知りました、クラブ局を作って仲間内で交信しているのです。

144.880で県庁局が事情を説明すると、チャンネルチェックしてから発信するようにとの説諭の後に譲ってくれました。YUXは、しばらくワッチに専念していました。

430では、相変わらずダンプが違法運用して参加者からの信号がブロックされていました。

終わってからの反省点

使用周波数は予備チャンネルを挙げておく

拠点局は相互に100パーセント了解できる通信施設を用意して、事前に確認しておく。

各バンド対応のアンテナを架設すること。

事前の打ち合わせで役割分担を確認徹底する。

官製事業への協力であれば、その旨を正確に表明すべき。

各クラブ局はコールサインだけでなく名称も送出すべき。

予定時刻を守ること。少なくとも拠点局は途中でQRTは考えない事。

JARL千葉県支部が官製行事に便乗したのならば、参加者全体の動きをレポートすべき。

支部事務局は事前の報告、連絡、相談など担当者と連絡を密にする。相談、依頼の類なしで通告だけでは動きようが無い。

もっと広範囲のデータが得られる企画がほしい。たとえば、先頭グループとしんがりグループとの交信データまた、それぞれのアンテナと出力など・・・

ゲストオペレーションは合法なので、当該局を運用可能な従事者免許所持者であれば、極論で通りすがりの人でも他局のコールで運用できるという認識を徹底する。

支部で来年も参加する方向であれば、FARENETの活動を参考にして企画して頂きたい。

徒歩グループ

12月15日に行われた千葉県災害時徒歩帰宅訓練は、マリスタジアムをスタート基点としてゴール地点の市川大州防災公園までの16Kmの間を、午前9時スタートで実施されました。

参加者はアマ無線以外の一般の方が百数十名、アマチュア局十数名程度で、一般の中には女性の参加者も多く、歩き慣れているのか、どんどん先に追い抜いて行かれるお方がいた

JK1PIK 村上武



のには驚きでした。

途中は支援のネット局（JA1YMO）NTT千葉港アマ無線クラブ、（JR1YUX）船橋市役所アマ無線クラブより15分毎に呼び出しがあり、現在地などの報告と、本部との連絡のやりとりや、ローカル局とのラグチューを楽しみながら進みました。

当日は好天にも恵まれ、YNAメンバーは全員

完歩して午後1時過ぎにゴールに到着、豚汁などの接待を受け、暫くして帰宅しました。

応援して下さったJK1TUJ他の各局有難うございました。

YNAの徒歩グループ参加者はJA1QC、JG1BAG、JK1PIK、JL1GYBの4局と、ご同行されたJA1RSS石川さん（印旛郡本埜村）でした。

事務局からのお知らせ

局免許の更新情報

ここ半年以内に無線局免許の有効期限が切れる局は、次の通りです。

忘れないで更新手続きをお願いします。

7N4WOU、JK1PIK、JA1CVG、JA1QC、JK1TUJ、7N2SDA
7M4NBV、JN1MSM、JJ1CTM

*局免許を更新された際は、新免許状の写しを事務局宛てに必ず送付下さい。

写しの到着をもって更新の確認としています。写しを未提出の局は、次の局ですから至急送付願います。

7N1TCU、7K2CWU、JF6FET、JN1XAB、7L2NWB、7L2USW
7M2EAI

事務局 防災課 工藤、金子

インフォメーション

***YNA賛助会員入会のおしらせです。**

JA1DDF 守田 伸一 さん 習志野市在住 これまでにJA6SOV、N6JAL、T88JLのコールで活躍されたそうです。益々のご活躍を期待します。

編集後記

42号の原稿は、年末になんとか滑り込みで届き、年内ぎりぎりで、会長に届けることができました。冬休みは9連休ありますから余裕ですが、ホームページの見直しもあります。今のうちにやっておかないと、年明けからはタイムスケジュールで仕事が控えているので落ち着かない、年末、年始となりそうです。

年末には、恒例の夜景撮影にでかけました。毎年、夜景のスポットが増えてくるので、どこに行こうか迷いますが、どこに行っても人込みが邪魔をします。落ち着いて撮影できて、綺麗なポイントが多いのはやはり六本木ですね。昨年の夜景をA4サイズに伸ばしてみました。画像のデータ数は2MB程度は必要、プリントは、フジカラーに依頼するととても綺麗に仕上がりますよ。

= 編集発行 船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 船橋市アマチュア無線クラブ 担当JS1IWA =